

No.189

- ・6年度一般会計当初予算……②
- ・議員報酬等条例改正……⑦
- ・9人が問う 一般質問……⑨
- ・視察研修報告・住民懇談会報告……⑲

みんなの 議会

長崎県長与町議会
令和6年3月定例会

町民と共に歩む **nagayo** 町議会だより

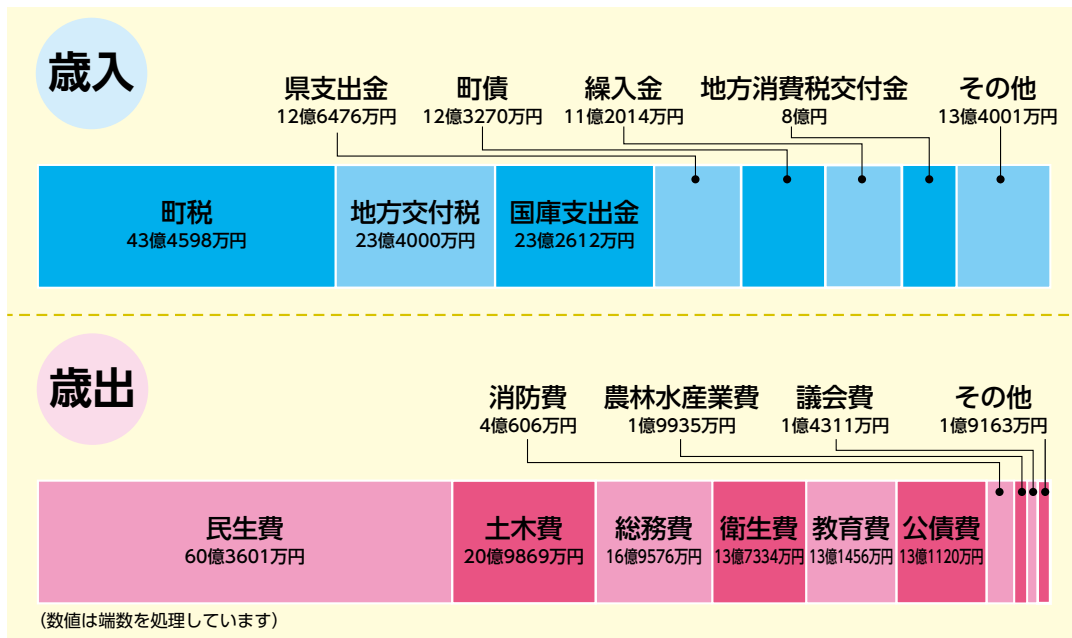


Photo title: 春の訪れ (吉無田郷)

まちづくり予算を審査

可決
賛成13:反対1

当初予算 147億6971万円



令和6年第1回定例会を3月5日から22日まで開催しました。
一般会計予算をはじめ各特別会計の新年度予算案や長与町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案など、29議案を審査し可決しました。



1833
万円

高齢者交通費・健康づくり助成事業



298
万円

健康増進事業（健康ポイント）



538
万円

学ぶ保育士等応援事業



4414
万円

給食共同調理場真空冷却機導入事業



280
万円

長与小学校 LED 整備事業



2億619
万円

学校給食費管理事業

安心、安定的に暮らせる

令和6年度一般会計

主な質疑

真空冷却機導入

Q 給食共同調理場の真空冷却機導入について、機器はどれくらい持つのか。

A 30年近く稼働していたものが壊れたので更新する。メーカー推奨の耐用年数はそれよりも短いと思うが、財政面も踏まえ相当期間使っていきたい。

町道等維持補修工事費

Q 町道新設工事の場所はどこか。

A 組合施行の椿林土地区画整理事業の下所から、高田中学校の外周道路に接続する道路を予定している。

公園緑地管理費

Q 中尾城公園の測量設計委託料の内容はどのようなものか。

A 中尾城公園の草スキーなどの劣化に伴う遊具更新と、スパイラルスライダー撤去に係る設計委託料である。

性的マイノリティへの理解

Q LGBTについての研修は、今後どのように考えているか。

A 職員だけでなく各種委員など、もう少し幅を広げて対面で実施してみたいと考えている。

庁舎のDX化

Q ペーパーレス化は進んでいるか。

A 4年度と5年度のそれぞれ2月までの累計を比較し、約23万1千枚の削減ができています。

高齢者交通費・健康づくり

Q 助成内容の見直しは定期的にあるのか。

A 定期的にはないが、6年度の助成券の交換はがきに簡単なアンケートを入れ、集計して検討する予定である。

反対討論

住民の理解を得られない

学校給食全額無償が無理だとしても物価高騰相当分は補填すべき、また学校司書の人数も減少することのこと。そしてパートナードシップ制度の予算も計上されていない。以上3点は住民の理解を得られないとし反対する。

(堤)

賛成討論

安定した予算編成と判断

骨格予算ということで、行政運営に必要な経常的経費が中心となっており、定額減税分は交付金措置がなされるなど、財源も安定している。歳入歳出ともに問題ないものと判断する。

(八木)

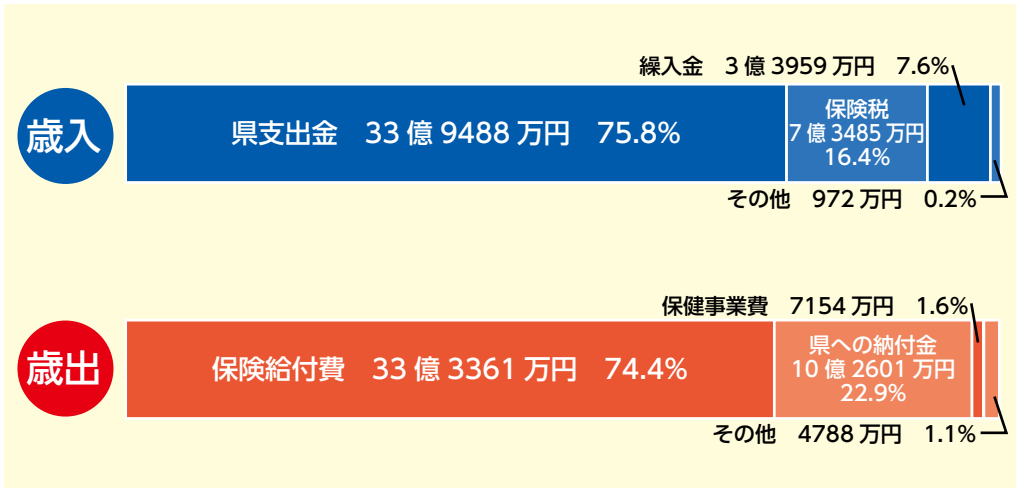
全会一致
可決

激変緩和措置終了分を基金で充当

6年度国民健康保険特別会計予算

44億7904万円

被保険者見込数 6969人 (前年度比390人減)



主な質疑

Q 令和6年度から県の激変緩和措置がなくなるが、財政調整基金を充当することで保険料の上昇を抑えていこうと考えているのか。

A 基金を活用するが、このままではいづれなくなる。保険料を上げることを今後考えることも予定している。

Q 保健衛生普及費の報償費、健康家庭に関する記念品とはどういう取り組みか。

A 医療費の抑制を目指して、医療機関を受診していない人に商品券を贈呈している。6年度から、健康増進の観点から特定検診を受けていることも条件に加えた。

可決
賛成13:反対1

予算額 前年比約2割増

6年度後期高齢者医療特別会計
予算 7億3071万円

被保険者見込数 6110人 (前年度比328人増)

反対討論

制度見直しが必要

高齢者が増えるほど、医療費が増え保険料が高くなり続ける制度設計となっている。健康で長生きする人が増えるほど保険料を重くする制度は見直しが必要である。

(堤)

賛成討論

持続可能な医療制度を反映

75歳以上の方が安心して医療を受けられるように国民(町民)全体で支え合い、持続可能な医療制度を反映しての予算である。

(岡田)

可決
賛成13:反対1

介護保険料改定

6年度介護保険特別会計予算

32億3765万円

被保険者見込数 1万1676人 (前年度比317人増)

主な質疑

Q 通所型サービスC事業委託料の内容はどのようなものか。

A 認知機能および運動機能低下に対して、短期集中的に5カ月間トレーニングすることで、生活機能の維持向上を図ることを目的としている。

反対討論

希望者が施設へ入れない

介護保険事業計画に基づく予算編成では、施設への入所を希望する人が入れない状況が増加する可能性が高い計画と予算になっている。

(堤)

賛成討論

介護ニーズに定める計画

「ふれあいにあふれ、いきいきと健やかに暮らせるまち 長与」を基本理念に介護保険事業計画に沿って目標設定をし、実現のために予算編成をしている。

(藤田)

可決
賛成13:反対1

高田南区画整理
一括施行の最終年度

6年度土地区画整理事業特別会計予算

14億7590万円

主な質疑

Q 保留地の処分はどれくらいになるか把握しているか。

A 一般の宅地として販売を予定している分は、約30宅地、5500平米ほどになる。

Q 一括施工の最終年度になるが、物価高騰などで全体としてどの程度金額が上がったのか。

A 当初の一括施工の金額が約48億円で、今は52億円となっている。

反対討論

財政を圧迫する事業

近年、さまざまな行政サービス、すなわち住民福祉の増進が難しい状況にあると感じるが、その要因として、本事業への予算投入が少なからずあると考える。本事業は、当該地域以外のまちづくり、住民福祉の財政を圧迫し続けてきた側面があると考える。(堤)

賛成討論

一日も早い工事完成を

6年度が工事の最終年度となり、本事業もいよいよ大詰めを迎えるところまできた。地権者はもちろんのこと、地域住民も早期完成を強く望んでいる。工事が遅れることなく完了させることを強く要望し賛成する。(堀)

全会一致
可決

新浄水場の
基本設計を含む

6年度水道事業会計予算

収益的収入	7億9,163万円
収益的支出	7億6,626万円
資本的収入	1億6,203万円
資本的支出	3億8,366万円
給水戸数	16,010戸
年間給水量	352万8,985m ³
1日平均給水量	9,668m ³

主な質疑

Q 能登半島地震で水道管の耐震性が問題になっているが、本町の現状はどうか。

A 町内の水道施設も老朽化が進んでいるが、管の更新と耐震化を計画的に行っている。

Q 新浄水場の今後のスケジュールはどうなっているか。

A 令和5年度から6年度にかけて基本設計と要求水準書の作成、6年度から7年度に事業者の選定、7年度から12年度まで詳細設計・建設工事、12年度供用開始を目指している。

全会一致
可決

ストックマネジメント
計画策定

6年度下水道事業会計予算

収益的収入	9億7,295万円
収益的支出	9億5,615万円
資本的収入	5億3,993万円
資本的支出	8億5,483万円
水洗化戸数	15,830戸
年間排水量	338万299m ³
1日平均排水量	9,261m ³

主な質疑

Q ストックマネジメント計画策定はどのようなものか。

A 第2期として、7年度から11年度までの改築更新事業の5カ年計画を策定する。

Q マンホール蓋の改築工事が6年度は67カ所予定されているが、町全体の個数と耐用年数はどれくらいか。

A マンホール数は約8200個、耐用年数は車道にあるものが15年、歩道にあるものは30年である。

用語解説

収益的収支…主に維持管理の関係
資本的収支…主に設備投資の関係

収入＝使用料、負担金
収入＝補助金、借入金

支出＝維持管理費、人件費
支出＝事業費、償還金

全会一致
可決

低所得世帯支援給付金などを増額

5年度一般会計補正予算(第7号)

令和6年第1回臨時会を2月16日に開催し、一般会計予算に6530万円を追加し、一般会計総額を157億2399万円としました。

主な質疑

低所得世帯支援給付金

物価高に苦しんでいる住民税均等割のみ課税世帯に対し支援を行うため、低所得世帯支援給付金および新たに必要となる低所得世帯に係る子ども加算分ならびに事務費の増額を計上するものです。

Q 低所得世帯支給給付金の申請、支給はどのように行うのか。

A 均等割世帯のプッシュ型の分を2月末までに行う。



ふるさと長与応援寄附金を増額

ふるさと納税増額

ふるさと長与応援寄附金の増額に伴い、返礼品費などを増額するものです。

Q 4年度と比べてふるさと長与応援寄附金はどのくらいの増額が見込まれるのか。

A 4年度のふるさと長与応援寄附金は約1億4786万円であり、5年度は約2億4000万円を見込んでいる。

全会一致
可決

公園施設長寿命化

5年度一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出それぞれ1億1658万円を追加し、総額を158億4057万円としました。

主な質疑

電算システム運用開発

6年度の定額減税に伴う個人住民税システム改修業務委託料を44万円計上するものです。

Q 電算システム運用開発委託料の内容は何か。

A 定額減税に対しての基幹システム改修のみに対応するものである。6年度の個人住民税の税額計算と日割り計算への対応、通知書証明書の帳票、税額控除の追加、また、データ標準レイアウト、特定個人番号、個人情報番号への対応などを行う。

街区公園遊具更新

公園施設長寿命化の補助金を活用し、町内5つの街区公園の遊具を6年度にかけて更新するものです。

Q どの公園の遊具の更新を予定しているのか。

A 丸尾第三公園、池山公園、西田児童公園、長与ニュータウン北公園、そよかぜ公園の5つの公園で遊具の更新を予定している。



安心・安全な新しい遊具

人事案件

固定資産評価審査委員会委員

固定資産評価審査委員の任期満了により、推薦を行うための議案が提出され、全会一致で同意としました。

村田 和則 氏（高田郷）

可決
賛成12：反対2

議員報酬を24年ぶりに増額

町議会議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

社会経済情勢や類似団体などの状況に鑑み、長与町特別職報酬等審議会の答申を基に、議員報酬を増額改定します。

令和6年4月1日から2万5千円を増額し、議長36万8千円、副議長31万円、常任委員長・議会運営委員長29万6千円、議員28万3千円となります。

主な質疑

Q 今後、三役が引き上げになった場合、議員報酬も再度改定の検討がなされるのか。

A 全国町村議会議長会が首長給与と比較して何%が妥当という標準案を出しているのですが、今後、社会の変化によっては三役の改定も含めて再度議論をすることになると考える。

反対討論

増額には賛成だが、議会として結論を出す前に議長が報酬等審議会の開催を町長へ依頼したのは合議制の軽視で、容認できない。（八木）
昨年の選挙で誰も報酬を争点にしていない。増額は現職の任期が終わる3年後でよい。厳しい財政の中で優先されるべきではない。（浦川）

賛成討論

生活の維持も難しい報酬額が議員のなり手不足の一因と考える。議会の意向に影響されていない報酬等審議会の答申を尊重する。（堤）
議会の最も重要な役割であるチェック機能を果たし、議員がしっかり仕事をする、そして担い手育成の一助として報酬改定は妥当だ。（金子）
町長が議長に審議会の開催依頼は文書で行うよう要請したと聞く。町長が答申と現状から上程したもので、賛成反対は議員の判断だ。（竹中）

可決
賛成13：反対1

長期欠席議員は報酬減額

発議第1号 町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例

議員が出席すべき会議等を長期間欠席した場合に当該議員の報酬および期末手当を減額する議案が議員発議として提案されました。

減額割合は、欠席の期間が61日～120日は5割、121日～240日は7割、241日以上は不支給で、公務災害や出産、入院などの場合は適用除外となります。

反対討論

会議日程の都合や本人に過失のない欠席でも減額される重大な欠陥がある。ほとんど欠席でたまに出席するような議員を確実に処分すべきだが、本案では使い物にならない。（浦川）

賛成討論

県内初の条例として他市町のモデルケースになり得る十分厳しい内容だ。不正を許さない本町議会の姿勢を示すためにも賛成する。（八木）
報酬は役務の対価で、その提供がなされない場合に支給しないのは当然。議員に責任を再認識させ自身を律する意味でも賛成する。（金子）

令和6年第1回臨時会の議案および議決結果

議案番号	議案	審議結果
第1号	長与町手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第2号	令和5年度長与町一般会計補正予算 (第7号)	可決 (全会一致)

令和6年第1回定例会の議案および議決結果

議案番号	議案	審議結果
第3号	長与・時津環境施設組合規約の変更について	可決 (全会一致)
第4号	長与町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第5号	長与町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決
第6号	附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第7号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第8号	長与町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第9号	長与町介護保険条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第10号	長与町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第11号	長与町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第12号	長与町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	可決
第13号	長与町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	可決
第14号	長与町営住宅の設置、整備及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第15号	長与町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第16号	長与町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第17号	長与町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第18号	令和5年度長与町一般会計補正予算 (第8号)	可決 (全会一致)
第19号	令和5年度長与町国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	可決 (全会一致)
第20号	令和5年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)	可決 (全会一致)
第21号	令和5年度長与町介護保険特別会計補正予算 (第3号)	可決 (全会一致)
第22号	令和5年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全会一致)
第23号	令和6年度長与町一般会計予算	可決
第24号	令和6年度長与町国民健康保険特別会計予算	可決 (全会一致)
第25号	令和6年度長与町後期高齢者医療特別会計予算	可決
第26号	令和6年度長与町介護保険特別会計予算	可決
第27号	令和6年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計予算	可決
第28号	令和6年度長与町水道事業会計予算	可決 (全会一致)
第29号	令和6年度長与町下水道事業会計予算	可決 (全会一致)
第30号	長与町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 (全会一致)
発議第1号	長与町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例	可決

賛否が分かれた議案 (○賛成 ▼反対 ■棄権 ◆除斥 一欠席) 議長は原則採決に加わらないため※で表示

議案番号	堀	藤田	岡田	八木	松林	西田	浦川	中村	安部	金子	山口	堤	竹中	西岡	安藤	審議結果
議案第5号	○	○	○	▼	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	※	可決
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	※	可決
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	※	可決
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	※	可決
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	※	可決
議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	※	可決
議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	※	可決
発議第1号	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	※	可決

■棄権：議員自らの意思により表決に参加しないこと。 ◆除斥：議員は自らに利害関係のある事件の議事に参与することができないこと。

9人が問う

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が実際のやりとりの範囲内で執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内に要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与南交流センター、長与町議会ホームページで閲覧できます。

会議の中継・配信

本会議の様様を、ユーチューブでライブ配信・録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ [一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。ぜひご覧ください。](#)

10	岡田 義晴 議員	① 豊かで持続可能な社会を次世代に引き継ぐ人口減少対策について ② 行政評価（事務事業評価）の必要性について ③ 本町の私道について
11	八木 亮三 議員	① 本町に暮らす性的マイノリティの人権について ② 生徒指導提要の実践状況について
12	金子 恵 議員	① 新図書館の運営について
13	西岡 克之 議員	① 学校設備について ② 下水道処理最終処分について
14	松林 敏 議員	① 動物殺処分ゼロを目指すプロジェクトについて ② 町営駐車場について
15	堤 理志 議員	① 行財政運営のあり方について ② 公共的役割を担う方の権利擁護について ③ パートナーシップ制度の導入について
16	安部 都 議員	① 新図書館建設構想および学校図書館と学校図書館司書について ② 学校給食の全額無償化と無農薬有機栽培給食の導入について
17	藤田 明美 議員	① 耕作放棄地について ② オーガニックビレッジ宣言への取り組みについて ③ 2025年太陽フレア問題について
18	中村 美穂 議員	① 自治会の運営について ② 通学路の安全対策について



おかだ よしはる
岡田 義晴 議員

次世代に引き継ぐ人口減少対策は

回答 危機感を持ってまちづくりを推進



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■議員 令和2年3月に改訂した町まち・ひと・しごと創生総合戦略の序文には「本町は、消滅可能性都市と言われるような逼迫した状況に陥ってはいませんが、豊かで持続可能な地域社会をつくり上げ、次世代に引き継いでいくために、将来を見据え、しっかりとした戦略を持って取り組んでいかなければなりません」とある。現在、どのような取り組みをしているのか。

■町長 本町の人口減少対策は、3年度からの第10次総合計画に第2期長与町まち・ひと・しごと創生総合戦略を包含させ、一体的な計画として策定し取り組みを進めている。町の将来を見据えた戦略については、ハードとソフトの両面からアプローチを行っている。ソフト面では、子育て・教育・健康づくり・遊び心の四つの視点から、ハード面では、高田南土地区画整理事業や都市計画道路西高田線をはじめとする器づくりを行うことで、魅力あるまちづくりに取り組んでいる。現在のところ、本町は消滅可能性都市になる可能性は低いものと考えているが、人口減少が想定よりも速いペースで進んでいるので、今後危機感を持って、まちづくりの推進に取り組んでいく。

問 行政評価の必要性は
答 施策実現の重要なツールと考える

■議員 現在、自治体の行政評価の導入率は、市区以上の規模で80%以上であるが、町村となると38・9%と急激に低くなっている。加えて、行政評価の導入は事務の軽減に逆行するとして導入を廃止する自治体もある。町としてどのように考えているか。

■町長 本町は、成果重視の行政への転換、効果的・効率的な行政運営を目的として、施策評価と事務事業評価を実施している。これらの取り組みは一定の成果を上げていて、施策実現に向けた重要なツールと考えている。

問 私道の修繕についての対策は
答 道路修繕費用の一部補助は可能

■議員 昨今、私道については、所有者の高齢化など、さまざまな理由から維持管理が難しい状況となっているものが出てきているが、仮に所有者が維持管理能力をなくしたり、所有権を放棄した場合

は、道路補修費の一部補助などを含め、町としてどのような手立てができるか。

■町長 私道の修繕や改修は、里道や水路などの修繕と同様に原材料費支給制度の活用が可能である。申請者は自治会長および申請責任者の連名で2戸以上の利用者がいることが条件で、労務費を除く工費用原材料費や機械借上料などの経費を上限30万円まで支給することができる。



劣化が進んだ私道



やぎ 三亮 議員

パートナーシップ制度で救済を

回答 必ずしも救済になるとは思わない



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■議員 広報ながよで町民に性的マイノリティへの理解を呼びかけながら、その当事者が直面している格差・差別の是正につながるパートナーシップ制度の導入はしない、というのは矛盾している。愛知県で、犯罪被害者遺族への見舞金が同性パートナーへ給付されないのは違法だとする最高裁判決が出そうだという報道があったが、もし本町でも同様の事例があったら、

パートナー認証することで救済してあげたいと思わないか。
■総務課長 パートナーシップ制度が人権を守る制度の一つだとは認識しているが、必ずしもそのような事案の救済につながると思わない。
■議員 パートナーシップ制度導入反対の声に配慮して町長が決断できないのであれば、我々議会が予算への賛否



優遇ではなく平等を求めているだけなのに

■議員 文部科学省による教職員向けの生徒指導の基本書である生徒指導提要では、校則を学校ホームページで公開するのが適切としているが、本町の3中学校とも公開していないのはなぜか。
■教育長 校則は新入生や保護者に丁寧に説明しており、関係者には周知されると考える。ホームページの掲載内容は各校長の裁量になる。
■議員 生徒が校則を見直

問 校則を学校HPで公開すべきでは
答 校長会で話題にしてみました

という形で可否を判断するので、導入にかかる経費を補正予算として6月定例会で提案してはどうか。
■総務部長 パートナーシップ制度を導入した自治体において当事者が差別を受けたという事例もあるので、やはり制度導入の前に、住民への理解を進めたい。

すためにも、他校の校則と比較できることには意義があると思う。教育委員会から校長へ公開を提案してはどうか。
■教育委員会理事 各校とも、生徒が町内他校の校則を知りたいと言えば提供できるようになってきているが、ホームページで公開すれば自主的な気づきもより容易になると思うので、校長会で話題にしてみたい。
■議員 生徒指導提要が12年ぶりに大幅に改定されてから1年がたつが、定例教育委員会の場で一度も話されていないようだ。提要は現場の教職員のためのものではないが、時代の変化に合わせた改定の経緯や内容は教育委員も知っておくべきではないか。
■教育長 近年の子どもを取り巻く環境の変化やそれに伴う今日的な課題は教育委員も認識しているが、国の新しい教育施策や方針などを共有するのは重要なことなので、今後、共通理解に努めたい。



かね 金子 めぐみ 恵 議員

図書館司書 早期決定の重要性は



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 きめ細やかなサービスが可能に

■議員 図書館建設前、早期に職員・司書を決定し協議する場が必要と感じている。配置によっては図書館の運営やサービスにさまざまな影響が出ると思われるが、今後の設定の中で重要な点は何か。

■生涯学習課長 現在は10人だが、基本計画にある16人以内で今後考えていこうと思っている。専門職が増えることによりサービスもこれまで以上にきめ細やかにできることが可能になってくると思う。

■議員 司書にはさまざまな役割、業務内容がある。早い段階で人員配置を考えていくことが、今後の運営やサービス提供に貢献すると考えるかどうか。

■課長 現在、協議中である。

■議員 開架図書8万冊、閉架図書3万冊、計11万冊を予定しているが予算は例年どおりで新図書館が入っていない。本の選書、搬入など期間的にかかると聞いている。

予算計上をいつと考えているか。

■課長 早く計上でできればとは考えている。しかし、財政状況を考え、予算計上する時期や額は決まっていくなのと考えている。

■議員 今は図書にICチップが内蔵され、貸出機・サービスカウンターを通っていない場合は警報が鳴るシステムを導入している図書館があると聞く。盗難などを考えた場合の所管課の考えはどうか。

■課長 盗難防止装置は、導入費用や管理費用が結構かかる。また、盗難にあった場合、補填で済むという考えで進めている図書館もある。方法としてはこの2択で考えている。

■議員 住民ボランティアの協力体制はどうなるのか。
■教育長 今後、各ボランティアの活動内容や特性を勘案し、現在の図書館と併せ、新図書館での協力体制について検討していく。

■議員 新図書館は健康センターとの複合施設である。しかし、全体的に考えた場合、

教育委員会、住民福祉部、健康保険部など庁舎内の連携が取れているように感じられないがどうなっているのか。

■企画財政部長 担当者レベルでワーキンググループを作り、その中で協議をしている。また、各課長が入る幹事会、理事者が入る推進会議など、双方で連携し、一つ一つの物事を決定している状況である。

■議員 住民の参加があったこそ民主的な意思決定が実現する。運営面も地域のニーズに合った取り組みを行うことが理想だと考える。今後、どのような理想の図書館をつくり上げようと考えているか。

■教育長 運営・サービスを充実させる。また、建った建物が、人生100年時代に100年続くような、永続的に多くの住民参加をしてもらうことで生涯学習の拠点になることを目指したい。



ソフト面の充実でみんなが楽しく利用できる図書館に期待！



にしおか かつゆき 西岡 克之 議員

学校トイレの洋式化の現状は



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 新たに12基を洋式化し約60%

■ 議員 公立学校のトイレについて、文部科学省は令和7年度までに洋式化率を95%にする目標を掲げている。そこで、本町の小中学校トイレの洋式化の現状と今後の計画はどうか。

■ 町長 3年3月策定の第10次総合計画の中で、学校施設の洋式化率を7年度までに70%とする目標としていたが、5年度は新たに12基を洋式化し、5年度末に60・5%になる。校舎の老朽化対策と並行して、児童生徒が安心安全な学校生活を送れるように、また避難所として利用される場合も含め、年齢や性別、障害の有無にかかわらず、快適に利用できる学校施設整備に努める。

問 下水道処理廃棄物の有効利用は

答 肥料化について検討を進める

■ 議員 下水道処理最終処分処理過程で出る廃棄汚泥からリンなどを抽出・回収し、

肥料にして国産肥料として販売する自治体も出てきた。本町でも同様に、廃棄物を有価物に変える処理を目指すことができないか。

■ 町長 下水道処理過程で発生する廃棄物の利用について、食品安全保障強化政策大



取り出せ資源（長与浄化センター・岡郷）

綱において、2030年までに堆肥・下水汚泥資源の使用量を倍増し、肥料の使用量（リソース）に占める国内資源の利用割合を40%まで拡大する旨の目標が示された。5年3月17日に、国土交通省下水道部長通知で、発生汚泥等の

処理に関する基本的な考え方が発出されて、基本方針を「下水道管理者は今後、発生汚泥等の処理を行うに当たっては、肥料としての利用を最優先し、最大限の利用を行うこと」と整理された。このことを踏まえ、本町の下水汚泥については、今まで焼却処理後に建設資材としてリサイクルしてきたが、今後、リンや窒素等の資源を含有している下水汚泥のポテンシャルを活かすために、肥料化について検討を進める。

■ 議員 肥料化する場合は、自前で設備を整備し販売まで行うのか。

■ 上下水道課長 製造、販売は外部委託の方向性で検討している。

■ 議員 重金属含有量の検査についての方向性を尋ねる。

■ 課長 検査は行っている。廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき分析しており、許容範囲内にあるものと判断している。



まつばやし 松林 敏 議員

地域猫活動に金銭的補助を

回答 できる範囲の支援を検討していく



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



野良猫ゼロ、殺処分ゼロを目指して

■議員 動物殺処分ゼロを目指すためには地域猫活動の充実が重要だと考える。本町の地域猫活動の状況はどうか。

■町長 令和5年12月末時点で4地域、21名で102頭である。

■議員 地域猫活動を充実するためには、活動に参加してもらう人を増やすことが必要だと思うがどうか。

■住民環境課長 地域猫活動が県の事業であるため、地域猫活動を行う人の募集などは県と相談する必要がある。

■議員 不妊・去勢手術代

は県の補助があるが、それ以外の餌代や猫砂代、ワクチン代などについては、基本的には地域猫活動団体の人が負担している。地域猫活動を持続可能なものにするためには金銭的な補助が必要と考えるがどうか。

■課長 どのような補助が必要なのか、県と連携して検証し、町としてできる範囲の支援を検討していく。

■議員 他自治体ではふるさと納税を利用して、返礼品なしで地域猫活動への寄付金を募っている自治体があるが、本町でも取り組むべきと考えるがどうか。

■町長 ふるさと応援寄付金を活用した寄付は、複数の自治体が実施していて、寄付の内容や支援先など自治体によって異なっている。また、ガバメントクラウドファンディングを活用するなど自治体ごとに取り組みもさまざまであることから、本町ができる支援について情報収集を行い判断していく。

■議員 飼い猫であっても外に出ることがあれば、不妊・去勢手術が必要になるので、注意喚起をする必要があると考えるがどうか。

■町長 飼い主のマナーやルールについては、広報紙やホームページで定期的に周知している。今後も効果的な周知・啓発に努めていく。

問 町営駐車場の機械の導入は

答 様々な運営方法を比較検討する

■議員 町営駐車場の時間駐車は利用率が低いようであるが、時間駐車を減らし、月極駐車場を増やす考えはないか。

■町長 周辺環境の変化や公共サービスの観点から今後の運営方法について検討する。

■議員 時間駐車場は売り上げが約190万円に対して、管理委託料が約500万円かかっている。機械を導入し無人化する考えはないか。



機械導入で経費削減を

■町長 現在、利用者へのアンケートや周辺の人などへの聞き取り調査の準備を進めている。その結果を踏まえて経費削減を念頭に置いて、機械化のみならずさまざまな運営方法について比較検討を行い、今後の方向性を慎重に判断していく。



安定度が高い採用を増やせ



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 外部委託の検討も必要

■ 議員 図書館司書や保育士など専門知識・技能が必要な職種でも非正規雇用が常態化していることは問題と感じる。現在、官民間問わず人手不足が深刻化し危惧する。行革、経費削減として、職員や給与を減らすことは弊害があると考えられるがどうか。

■ 町長 経費節減を目的に職員や給与を減らすことはモチベーション低下や、負担増でかえって人材確保が困難になるなど、質の高い行政サー

ビスの提供に弊害が生じる。必要な職員数確保と適正な給与水準維持に努めていく。

■ 議員 各専門員や、業務委託する公共施設等管理公社も、担い手確保と専門職育成のため、安定度の高い採用枠の拡大を検討すべきではないか。

■ 町長 町において、専門職を正規職員として採用することも考慮する必要があるが、会計年度任用職員の効果的な活用のほか、外部委託で



行政は格差是正の先頭に立つべき

きる業務はアウトソーシング(※)も検討する必要があると考えている。

問 ハラスメントの対応はどうか

答 ハラスメント防止に努めたい

■ 議員 我慢を強いられてきた人たちが声があげることができるようになってきた。人権感覚のステージが上がった今、ジェンダーについてどのような捉え方をしているか。

■ 町長 女性職員の多様な働き方に関する研修などへの参加の呼びかけによる人材育成や、経験を積み重ねられる人事と管理職への登用に努めている。また、家庭生活を大事にできる職場環境づくりにも努めている。

■ 議員 モラルハラスメントやパワーハラスメントに適切に対応しているか。

■ 町長 どのような言動が該当するのかなどの具体例を示し、防止の注意喚起や相談

窓口の周知を図っている。被害者に精神的苦痛を与えるばかりでなく、職場環境に悪影響を及ぼす可能性があるため、今後とも職員のハラスメントに対する理解と防止に努めたい。

問 パートナリシップ制度導入せよ

答 国と県の動きを注視

■ 議員 多くの自治体で行われている、ハラスメントについての職員アンケートを実施してはどうか。

■ 総務課長 今後研究していきたい。

■ 議員 パートナリシップ制度は都市型自治体が先頭を切って導入が拡大している。本町も早期に導入するべきではないか。

■ 町長 国や県の動きを注視しながら引き続き研究していきたい。

※アウトソーシング 各種業務の一部を外部委託すること。



あべ 都 議員

給食全額無償化と有機給食導入は

回答 基本的に保護者負担 有機給食無理



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

- 議員 令和6年4月より諫早市と雲仙市が給食全額無償化を実施する予定だが、本町での無償化の考えはどうか。
- 教育長 学校給食の食材費は、基本的に保護者が負担すべきと考える。国による学校給食無償化の財政措置が図られれば、検討していきたい。
- 議員 学校給食に有機野菜を取り入れる考えはどうか。
- 教育長 有機野菜の数量を安定的に確保・納入することは困難である。新たな納入業者を見つけられない。比較的高価であるため無理があると考ええる。
- 議員 小中学校に配布する給食数は幾つか。また、仮に無償化する場合の予算はどれくらいになるのか。
- 教育長 小中学校の1日当たりの給食数は、3750食で、1カ月当たり平均6万2200食である。また、年間食材費は、2億550万円である。
- 議員 有機農家体験や土壌づくりワークショップを開

催したらどうか。

■ 産業振興課長 生産者が有機農業にどれだけ興味があるか情報収集し、近隣市町の動向も研究しながら、有機農業体験やワークショップ開催を検討していく。



南島原市の有機農家さんの玉ねぎ畑

問 視覚障害者等にやさしい図書館を

答 全ての人にやさしい図書館を準備

■ 議員 読書バリアフリー法を遵守した視覚障害者などのための読書環境や館内への誘導の考えはあるのか。

■ 教育長 現在の図書館で

提供している大活字本、点字図書、布絵本や文字拡大器に加え、カメラで読み取った印刷物の文字を音声で表示する音声拡大器やデジタル録音図書DAISY再生機器の導入を検討している。また、バリアフリー法および県福祉のま

強するため図書館を利用すると思うが、開放する体制はどうか。

■ 政策企画課長 図書館閉館後も1階の交流スペースについては、長めの時間設定にしようと思っている。閉館後も勉強や趣味などに活用してもらいたい。

■ 議員 災害時の拠点場所となる図書館だが、聴覚障害者などのためのフラッシュライトを導入する考えはあるか。

■ 企画財政部長 導入するよう検討している。

■ 議員 図書館閉館後も、学生、受験生、社会人など勉

■ 議員 新図書館と学校図書館や公共施設とのネットワーク化はどうか。

■ 教育長 学校図書館との連携は、学級文庫として年3回の割合で貸し出しを行っている。新図書館においても、教育委員会、図書館、各学校、各公共施設が共に連携を深め同様の事業を充実させていきたい。



夢いっぱいの新図書館建設構想



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

耕作放棄地をふれあい農園化へ

回答 需要を勘案して研究していく



ふじた あけみ 藤田 明美 議員

■ 議員 耕作放棄地の増加は食料自給率の低下、周辺環境や景観などに悪影響を及ぼす。耕作放棄地をふれあい農園へ貸し出せないか。また、本町以外の県民へ貸し出すことはできないか。

■ 町長 道路との接続、駐車場、水源の確保等の条件が合えば、ふれあい農園として活用が可能であるので、今後は利用者の需要も勘案して研



耕作放棄地をふれあい農園化へ
(高田2ふれあい農園)

究していく。ふれあい農園の貸し出しについては、町の財源を充当して整備しているため、現在は町内在住者に限定している。今後は、農地の利用状況も勘案しながら、町外の人への貸し出しも行うことも検討する。

■ 議員 3年以上耕作放棄地であれば、3年間化学肥料や農薬を使っていないということでは有機栽培の畑にする条

件をクリアしている。有機栽培農業を希望する新規就農者や、現在は慣行農業をしているが希望する農家に対し、転換地として使用してもらうことはできないか。

■ 産業振興課長 新規就農者、転換者とは限定せず、耕作放棄地を畑化へしていく取り組みを進めている。

問 有機農業の推進を

答 国等の動向を踏まえ推進に努める

■ 議員 戦争などの世界情勢により肥料や燃料の高騰が今後も心配されるが、化学肥料および農薬に頼らない有機農業や自然農法など持続可能な農業の推進に対して本町はどのように考えるか。

■ 産業振興課長 国で有機農業の推進に関する法律ができていて、本町もこの法律にのっとり施策などを進めていかなければならないと考えている。

問 太陽フレア問題の対策は

答 国からの情報を速やかに発信する

■ 議員 総務省が2022年に、2025年太陽フレア問題について最悪シナリオとして報告書をまとめてホームページで公表している。その中で、地球上の磁気が乱れることで約2週間ほど大規模停電や通信障害が起きる恐れがあるとされている。各個人の備えや自治会内の連携も必要だと思うが、まずは注意喚起が必要であると考えている。本町独自で町ホームページや広報紙などで注意喚起ができないか。

■ 地域安全課長 国や県から詳細な情報が来ていないが、必要な情報があれば周知していく考えである。



なかむら みほ 中村 美穂 議員

自治会配布物の見直しは



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 配布物の減量化に取り組む

■議員 現在の自治会加入世帯の数と推移についてはどうか。

■町長 令和5年4月1日現在で1万862世帯、加入率は63・6%、2年度の加入世帯は1万1417世帯で加入率は67・0%と、年々減少の傾向にある。

■議員 自治会運営上の相談や対策についてどのようにしているか。

■町長 窓口や電話などで受け付けており、5年度からLINEを用いて町自治会長会公式アカウントの運用を開始し、相談受付体制の強化をしている。

■議員 自治会配布物の回数や内容の見直しについてはどうか。

■町長 見直しに向けた検討を進め、6年度より自治会の負担軽減策として、配布物の減量化に取り組む。

■議員 ごみステーションに出された違反ごみの対応について、おおむね1カ月をめぐりに回収しているというが、

2カ月以上そのままになっているものもあると思うがどうか。

■住民環境課長 自治会などからの連絡で回収している。今後、対策を講じていきたい。

■議員 今後の自治会への対応についてはどうか。

■町長 相談体制の充実や自治会の負担軽減や活性化の取り組みへの提案、自治会長の意見交換会や交流の場づくりを継続して実施し、自治会運営における悩みや課題を共有し、改善策を共に考えていく。

■議員 自治会があることにより、環境やさまざまな問題に対して取り組むことができ、住環境が守られる事の助になっていると思うがどうか。

■町長 自治会を守ることが健康を守ることと同様であり、自治会加入促進を進めていきたい。

問 吉無田交差点の安全対策は

答 対策を講じていきたい

■議員 吉無田交差点の横断歩道の安全対策について、交通指導員や保護者の立哨当番の他は見守りができていないが危険な交差点である。警察にドライバーへの注意喚起として横断歩道に立つての指導を依頼できないのか。

■地域安全課長 現地を朝夕の時間帯の調査をして、状況に応じて警察官による交通監視活動を要望していく。



横断歩道、安全に渡れる対策を

■議員 全国的に歩道にいても車が突っ込んで大きな事故に遭う事例が報道されている。横断歩道待機時にボラード(※)を設置して守る必要もあると思うがどうか。

■土木管理課長 横断歩道は自転車や車椅子、杖を持った人が利用すること、路面には視覚障害者用の点字ブロックがあるなどからボラード設置には配慮が必要であり、ボラードを含め対策を講じていきたい。

※ボラード 車止め的一种。車の突入を阻止する車止めボールのこと。

浄水場の共同整備とサテライトオフィスについて

委員長 中村 美穂

○調査期日

令和6年1月22日～24日

○調査場所

徳島県北島町

徳島県神山町

徳島県美馬市

○調査目的

浄水場の共同整備について

サテライトオフィスについて

○調査を終えて

北島町と鳴門市は浄水場の共同整備を行うことで国庫補助事業となり、建設費の負担軽減が見込まれ、稼働してからも維持管理費や人件費の削減が期待できるようです。事業に関する協議がある時には、すり合わせなどに時間を要する事だけがデメリットとのことでした。

神山町は、NPO法人と共に、光ファイバー網の整備やサテライトオフィス体験宿など都会と田舎の格差をなくすサテライトオフィ



徳島県北島町

美馬市はうだつの町並みや地域交流センターミライズを利用してサテライトオフィスを開設しており、サテライトオフィス誘致には町の魅力を発信することが重要だと感じました。

スの開設を進めています。

住民懇談会を実施しました

「長与町の新しい図書館を想う会」様からの申請を受け、住民懇談会を1月31日に長与町ふれあいセンター会議室にて開催しました。

現在の長与町図書館で長年さまざまなボランティア活動や学習・研究活動を行っている方々で構成される団体だからこそ、令和9年度開館予定の新図書館等複合施設について、大きな期待と同時に、本当に町民・利用者に使いやすく愛される図書館になるか不安に感じている点もあるようでした。

町内の公民館などとのネットワーク化や職員・ボランティアを尊重することなど、よりよい新図書館にするための提案や要望は各議員がそれぞれに受け止め、今後の議員活動に生かします。



皆さんの思いを各議員が真剣に受け止めました

●住民懇談会とは

「まちづくり」「長与町政」「長与町議会」のいずれかに関する事で、議会・議員に知ってほしい・伝えたいことがありましたら、長与町議会ホームページから実施要綱・申請書をご確認の上でお申し込みください。町民、その他、長与町に関する活動等を行う団体で、おおむね10人以上のグループであれば申請いただけます。

次の定例会は **6月4日(火)** 開会の予定です。

長与町議会 (定数16)

皆さまの傍聴をお待ちしています。

3月議会の傍聴者は

延べ **15人** でした



後列：竹中 悟 西岡克之(副議長) 安藤克彦(議長)
 中列：松林 敏 西田 健 浦川圭一 中村美穂 安部 都 金子 恵 山口憲一郎 堤 理志
 前列：堀 真 藤田明美 岡田義晴 八木亮三

議長交際費

(令和6年1月1日~3月31日)

寸志・慶祝など	50,755円(7件)
激励カンパ	20,000円(1件)
視察研修土産代など	10,022円(3件)
支出合計	80,777円(11件)



撮影者：江崎 悠人さん
(長崎北陽台高等学校 写真部)

タイトル：春の訪れ
撮影場所：中尾城公園 (吉無田郷)

撮影者コメント：中尾城公園を訪れた時、春の花が咲き誇っており、春の訪れを感じました。

表紙の写真

編集後記

春の風が心地よいこの頃。二十四節気の啓蟄から始まった令和6年第1回定例会、終わる頃には春分を迎えており、本誌が発行される頃は清明が終わって穀雨に入ります。毎日同じように過ぎていく社会生活の中で季節はどんどん移り変わります。見逃さず美しい日本の季節を楽しみたいですね。私は四季の中でも春が一番好きです。菜の花、スミレ、ホトケノザ、きゅうり草などの野草を見かけると何とも優しい嬉しい気持ちになります。晴れてポカポカ陽気だとか特別なことがなくてもウキウキします。色んな事が起きるこの世界だけれど、目の前の幸せを大切に過ごそうとあらためて思います。

(藤田 明美)

議会広報広聴
常任委員会

委員長 八木 亮三
 副委員長 堀 真
 委員 藤田 明美
 岡田 義晴
 松林 敏
 浦川 圭一
 安部 都



この「ながよ町議会だより」は、環境に配慮し揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。

配布の負担軽減と経費削減のため、薄くて軽い紙に変更しました。